

キングスカイフロントに本拠を置くイクスフローが mTAS 技術に基づく画期的な POCT システムを発表

株式会社イクスフローは、臨床現場や家庭など、どこでも迅速に検査を実施できる画期的な携帯型の POCT（ポイントオブケア検査）システムを開発しました。同システムは A4 サイズのクローズドシステムです。安全で安定的かつ自動化されているため、特別なスキルがなくとも操作できます。検体をセットするだけで 30 分以内に結果がわかります。mTAS 技術は、東京大学と株式会社ニコンにより共同開発され、この技術活用した製品をイクスフローが製品化進めています。

mTAS 技術

システムの中核技術は、分析の全工程を可能にする、環状流路を使った反応系で構成されるカートリッジです。カートリッジは単純な構造で、溝加工のあるレジンプレートとエラストマーフィルムで作られています。カートリッジのマイクロバルブが、分析のための反応物質の輸送と混合を可能にします。試料の前処理から精製、反応、洗浄、検出、結果出力までの工程が、すべてカートリッジ内で実施されます。

用途

- 新型コロナウイルスの迅速遺伝子検査カートリッジを装置に挿入するだけの簡単な検査です。後はボタン一つで検査が開始され、60 分以内に結果がわかります。
- 血中の抗体定量などのタンパク質検査システム（ELISA 検査）
- 呼吸器感染症による発熱のある小児（苦痛の迅速な緩和）

問い合わせ先：

株式会社イクスフロー

川崎市川崎区殿町 3 丁目 25-14

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）内

HP: <https://www.ixflow.co.jp/>

TEL : 03-5050-2224